

# 中小企業景気動向調査

(2023年4～6月調査)

vol.180

(2023年7月25日発行)

目次

- 全業種業況概要(業況～設備の状況) ..... 1
- 業種別業況の推移 ..... 3
  - 製造業/卸売業/小売業 ..... 4
  - 建設業/サービス業/不動産業 ..... 5
- 特別調査(アフターコロナと中小企業) ..... 6

●調査方法

この調査は中小企業を対象に取引先に出向き、聞きとりしたものです。

●調査時点

2023年6月初旬

●調査対象時期

2023年4月～6月実績及び  
2023年7月～9月予想

●調査対象企業の業種別及び有効回答数

	企業数	構成比(%)	有効回答数	回答率(%)
製造業	56	28.0	53	94.6
卸売業	21	10.5	15	71.4
小売業	42	21.0	33	78.6
建設業	32	16.0	27	84.4
サービス業	32	16.0	27	84.4
不動産業	17	8.5	14	82.4
合計	200	100.0	169	84.5

分析方法

D.I (ディフュージョン・インデックス)

A=良い(増加・上昇・過剰)  
B=ややA  
C=普通(変わらず・適正)  $D.I = A \cdot B - D \cdot E$   
D=ややE  
E=悪い(減少・下降・不足)

この調査の中では傾向を見る方法の一つとしてD.Iを中心として分析したもので、D.IはDiffusion Index(拡張指数)の略です。

企業が景況判断・予想を5段階(A,B,C,D,E)で行います。不変部分(C)を除いて増加(AもしくはB)したとする企業が全体に占める構成比と減少(DもしくはE)したとする企業の構成比のどちらの力が強いかを比べて、時系列的に景気のベクトル(方向線)の傾向を見る方法です。

概況

## 業況・売上額・収益すべてが改善

金沢信用金庫が行った中小企業169社の景気動向調査(調査回答先:金沢市中心の業務区域内200社・回答率84.5%)の概況は次のとおり。

今期の全産業ベースの業況判断DI(「良い」・「やや良い」-「悪い」・「やや悪い」の構成比、以下同じ)は△0.6(前期△16.6)と16.0%改善した。

業種別では、製造業が15.1(前期△12.7)と27.8%、ほか、小売業が△18.2(前期△33.3)と15.1%、サービス業が0.0(前期△37.0)と

37.0%、不動産業は△14.3(前期△21.4)と7.1%改善したが、卸売業が6.7(前期26.7)と20.0%、建設業が△7.4(前期△4.0)と3.4%悪化した。全産業ベースでの来期予想DIは△4.7と4.1%の悪化を予想している。

また、全産業ベースの売上額判断DIは8.3(前期△18.8)と27.1%改善、収益判断DIも△8.9(前期△21.2)と12.3%改善した。来期予想では、売上額判断DIが11.8と3.5%の改善、収益判断DIも3.0と11.9%の改善を予想している。

今回の調査で経営上の問題点として最も多かった回答は「売上の停滞・減少」(全回答中37.3%)で、以下、「人手不足」(全回答中36.1%)、「原材料高」(全回答中33.1%)であった。また、当面の重点経営施策としては「経費を節減する」と「人材を確保する」(全回答中45.0%)がともに最も多く、次点で「販路を広げる」(全回答中33.1%)という結果となった。

(注)2023年1～3月を前期、2023年4～6月を今期、2023年7～9月を来期という。以下同じ。

景況天気図

(この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。)

好調 ← ☀️ ☁️ ☔️ ☂️ → 低調

業種名	時期	2021年(令和3年)		2022年(令和4年)		2023年(令和5年)		見通し 2023年(令和5年)		
		7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月
総 合		☔️	☁️	☔️	☔️	☁️	☁️	☔️	☁️	☁️
製 造 業		☔️	☁️	☔️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
卸 売 業		☔️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
小 売 業		☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☁️
建 設 業		☁️	☁️	☔️	☔️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
サ ー ビ ス 業		☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☁️	☔️	☁️	☁️
不 動 産 業		☔️	☁️	☁️	☁️	☁️	☔️	☔️	☁️	☁️

# 全業種

	2021年(令和3年)		2022年(令和4年)				2023年(令和5年)		見通し 2023年(令和5年)
	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月
業況	△36.1	△12.4	△32.6	△15.8	△12.5	7.1	△16.6	△0.6	△4.7
売上額	△5.5	11.2	△25.7	3.4	2.8	19.4	△18.8	8.3	11.8
受注残	3.5	18.1	△14.6	△2.4	△1.2	29.6	△21.0	3.8	3.8
収益	△12.6	2.2	△24.6	△4.5	△8.5	10.6	△21.2	△8.9	3.0
販売価格	5.5	13.5	11.4	22.0	29.0	34.7	27.1	32.5	24.9
原材料価格	40.4	51.7	55.4	70.1	67.0	70.0	57.4	54.4	44.4
在庫	4.6	△5.4	3.4	0.7	10.2	△4.3	△2.1	2.8	2.8
資金繰り	△12.0	△12.9	△16.0	△7.3	△10.2	△11.2	△9.5	△7.1	△8.3
雇用(人手)	△14.8	△25.8	△15.4	△23.2	△30.7	△34.1	△33.9	△33.7	△33.7
設備状況	△13.0	△17.0	△10.6	△10.4	△16.0	△14.7	△13.5	△11.0	△11.6

## 設備投資動向

設備投資は、不動産業を除いた155社の動向です。

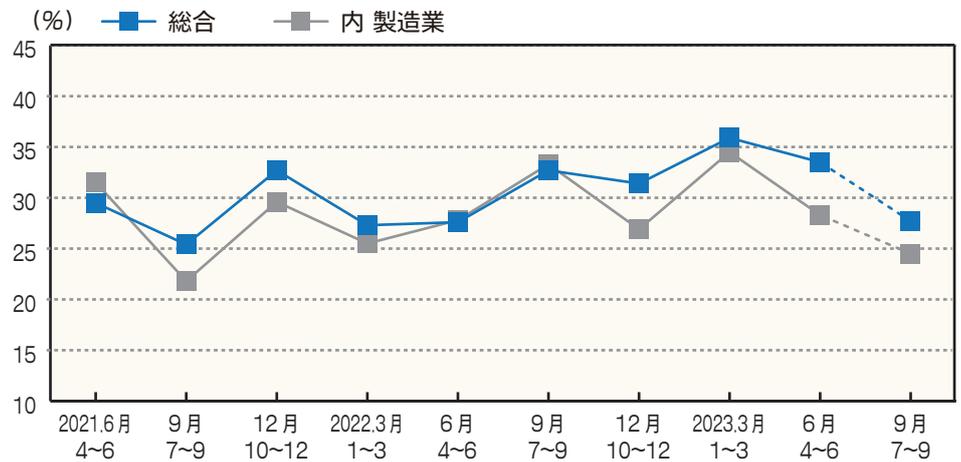
### ● 4~6月の設備投資実施状況

		有	無
総合	数	52	103
	%	33.5	66.5
(内 製造業)	数	15	38
	%	28.3	71.7

(来期見通し)

		有	無
総合	数	43	112
	%	27.7	72.3
(内 製造業)	数	13	40
	%	24.5	75.5

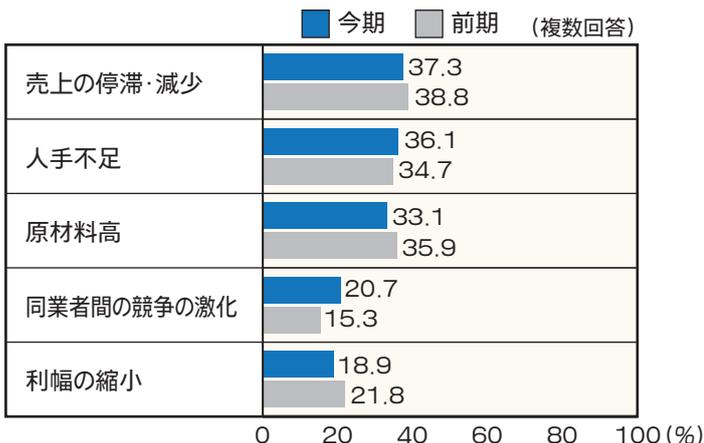
### ● 設備投資実施(予定)割合



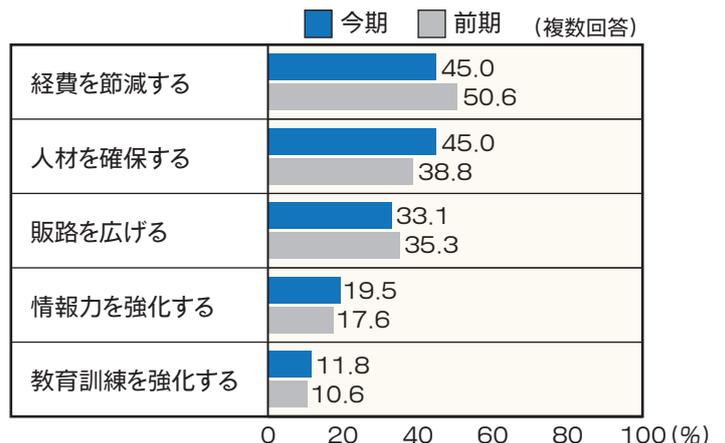
### ● 4~6月に実施した設備投資の内訳(複数回答)

		事業用 土地・建物	機械・設備の 新增設	機械・設備の 更改	事務機器	車両	その他
総合	%	4.5	9.7	9.0	10.3	11.0	1.3
(内 製造業)	%	5.7	15.1	13.2	3.8	5.7	0.0

## 経営上の問題点



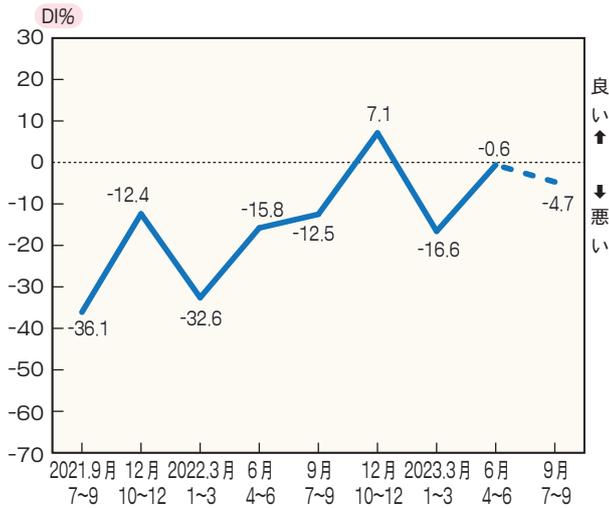
## 重点経営施策



# 全業種

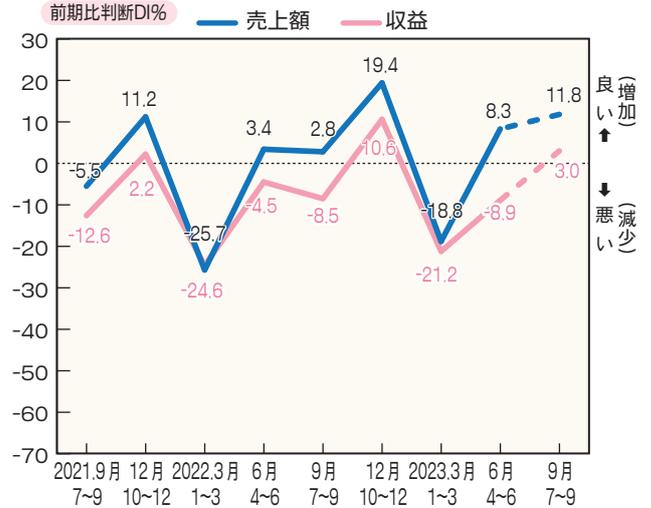
## 業況

前期から16.0ポイント改善



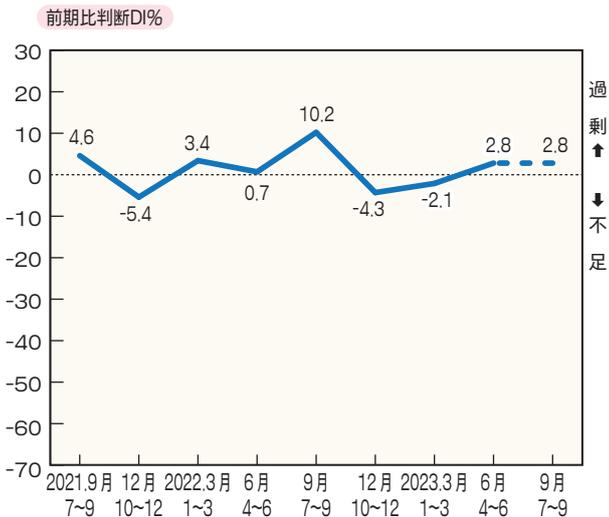
## 売上額・収益

売上額は27.1ポイント  
収益は12.3ポイント改善



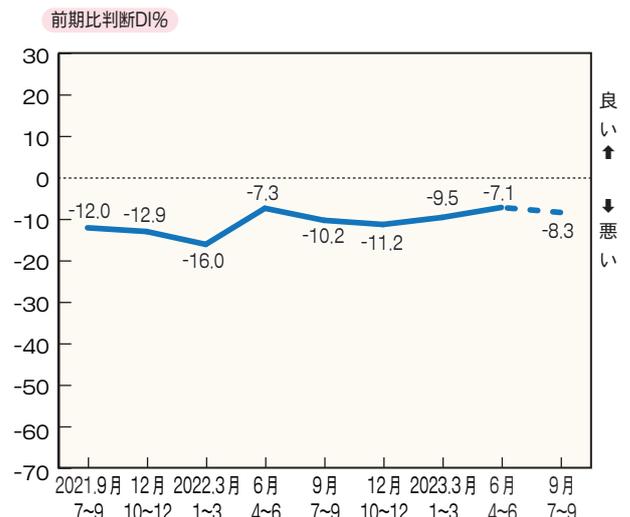
## 在庫

今期2.8(前期△2.1)と  
不足は解消



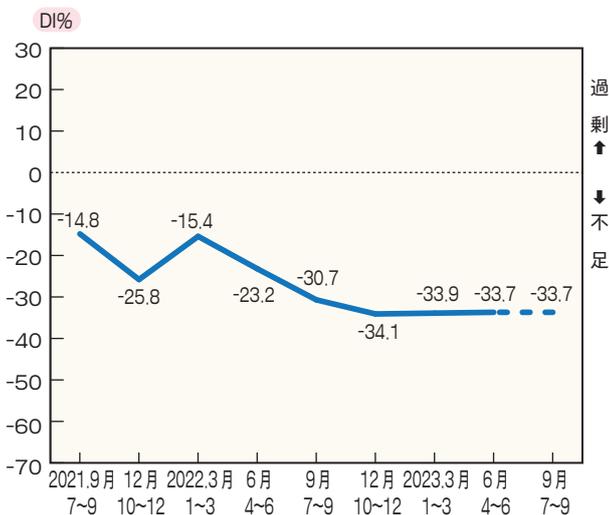
## 資金繰り

今期△7.1(前期△9.5)と  
改善



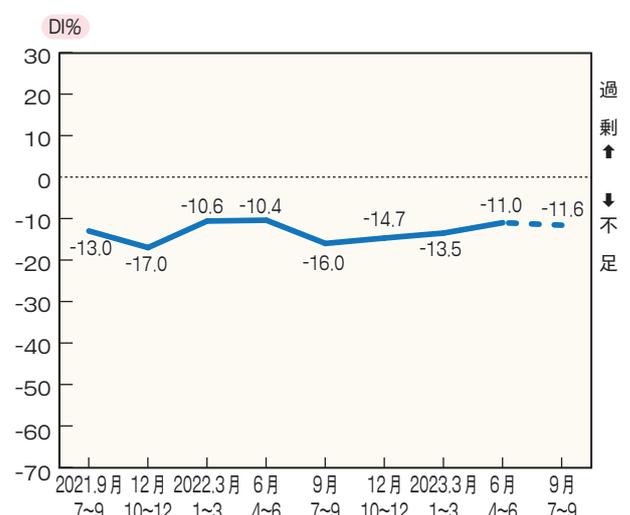
## 雇用

今期△33.7(前期△33.9)と  
改善



## 設備の状況

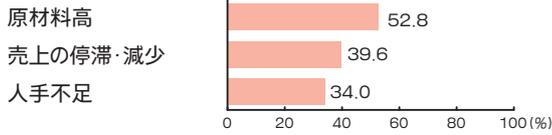
今期△11.0(前期△13.5)と  
改善



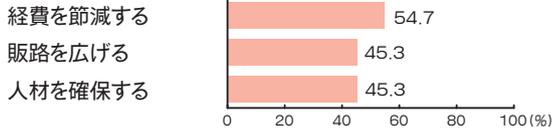
# 製造業

業況・売上額・収益  
ともに改善

## ◆ 経営上の問題点



## ◆ 重点経営施策



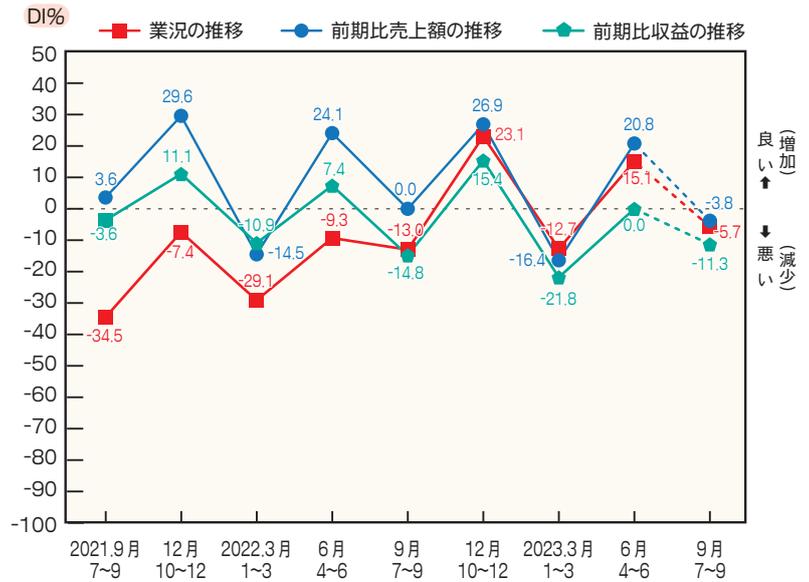
## ◆ 昨年同時期(2022年4~6月)に比した動き

売上額	39.6
収益	9.4

## ◆ 借入金の動き

借入の実施	30.2%
借入の予定	22.6%

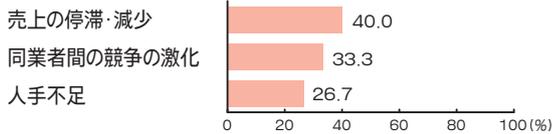
## ◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



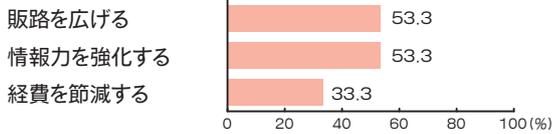
# 卸売業

業況が悪化するも、  
売上額・収益ともに改善

## ◆ 経営上の問題点



## ◆ 重点経営施策



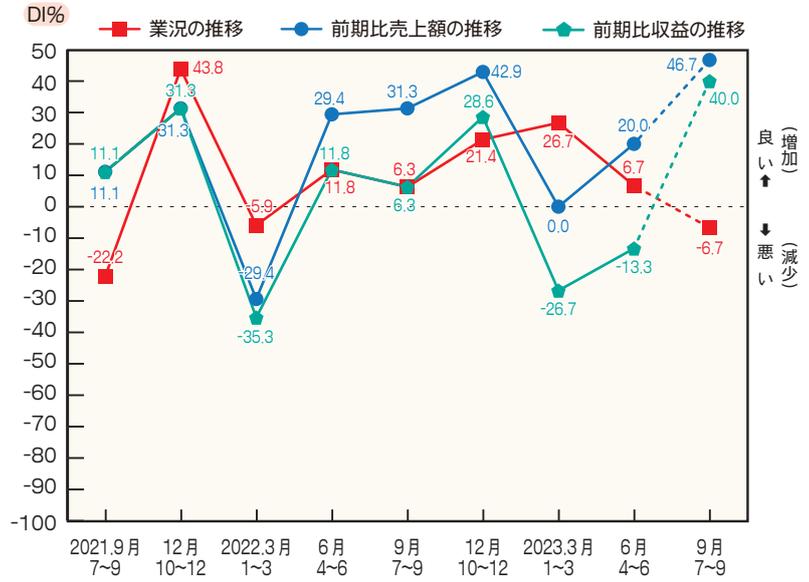
## ◆ 昨年同時期(2022年4~6月)に比した動き

売上額	46.7
収益	26.7
販売価格	46.7

## ◆ 借入金の動き

借入の実施	26.7%
借入の予定	13.3%

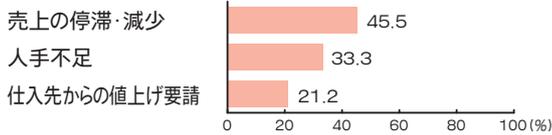
## ◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



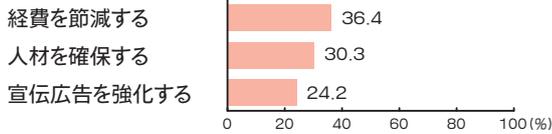
# 小売業

業況・売上額・収益  
ともに改善

## ◆ 経営上の問題点



## ◆ 重点経営施策



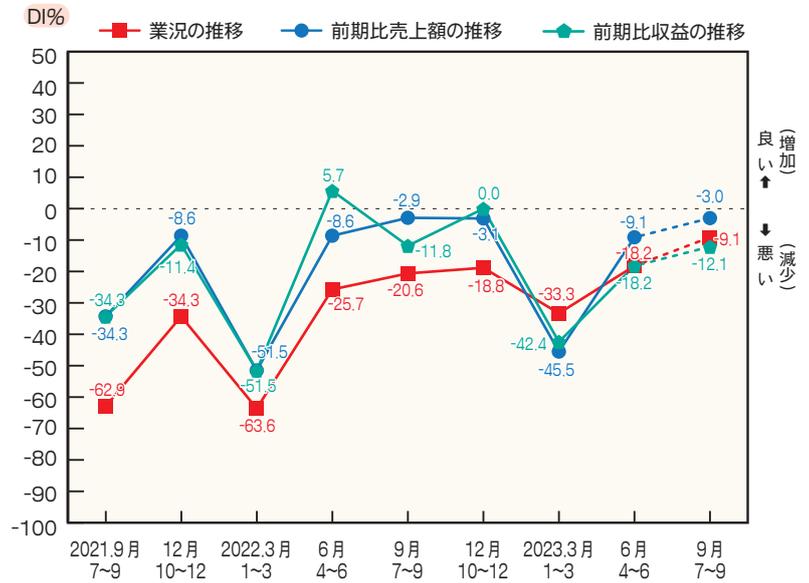
## ◆ 昨年同時期(2022年4~6月)に比した動き

売上額	△6.1
収益	△18.2
販売価格	54.5

## ◆ 借入金の動き

借入の実施	18.2%
借入の予定	21.2%

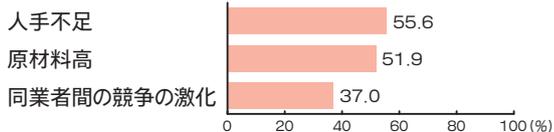
## ◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



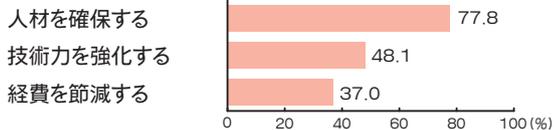
# 建設業

業況・収益ともに悪化するも、売上額は改善

## ◆ 経営上の問題点



## ◆ 重点経営施策



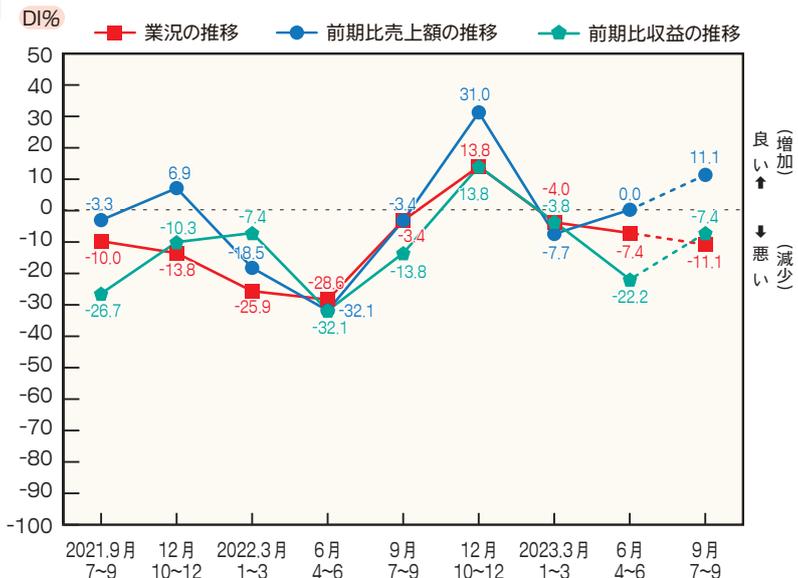
## ◆ 昨年同時期(2022年4~6月)に比した動き

売上額	3.7
収益	△3.7

## ◆ 借入金の動き

借入の実施	25.9%
借入の予定	14.8%

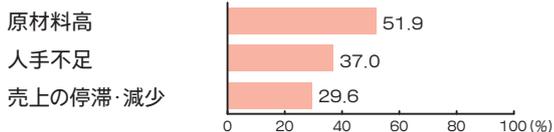
## ◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



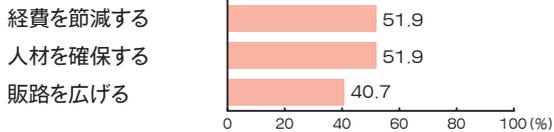
# サービス業

業況・売上額・収益ともに改善

## ◆ 経営上の問題点



## ◆ 重点経営施策



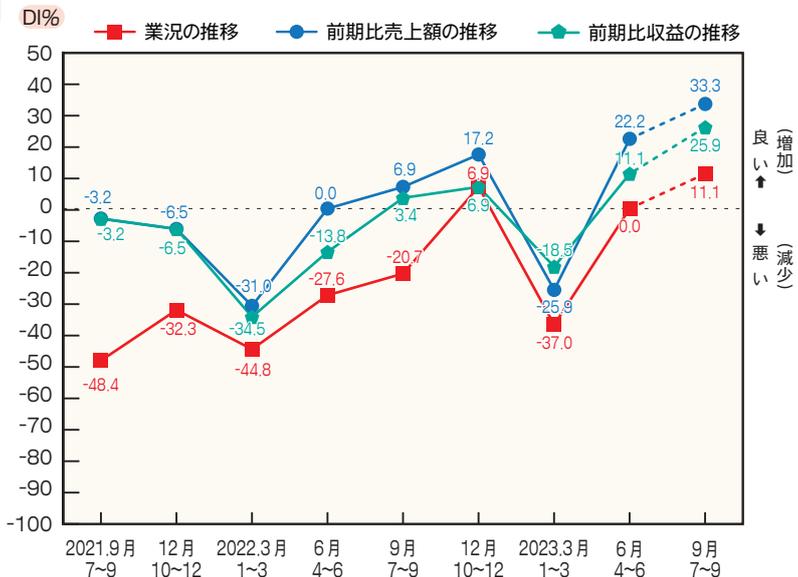
## ◆ 昨年同時期(2022年4~6月)に比した動き

売上額	14.8
収益	△3.7

## ◆ 借入金の動き

借入の実施	18.5%
借入の予定	29.6%

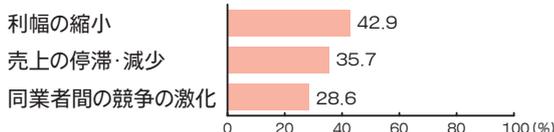
## ◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



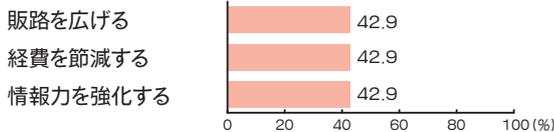
# 不動産業

売上額・収益ともに悪化するも、業況は改善

## ◆ 経営上の問題点



## ◆ 重点経営施策



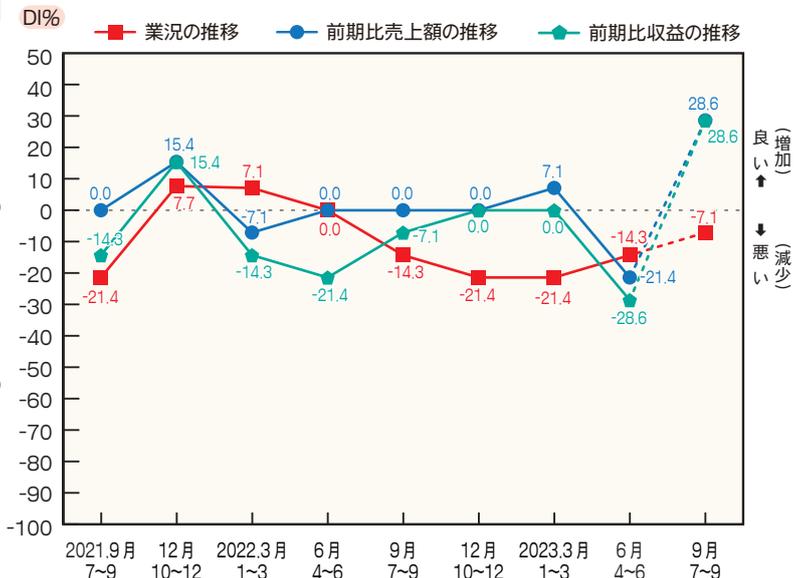
## ◆ 昨年同時期(2022年4~6月)に比した動き

売上額	0.0
収益	△14.3

## ◆ 借入金の動き

借入の実施	28.6%
借入の予定	42.9%

## ◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



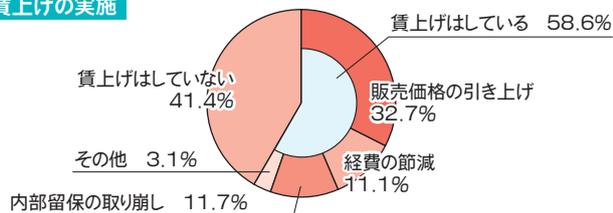


# アフターコロナと中小企業

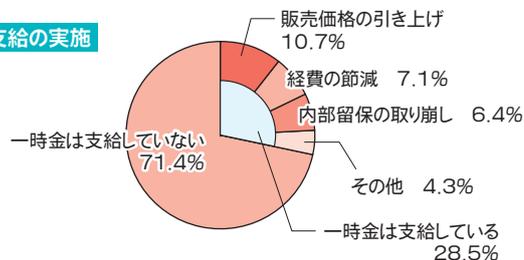
168社に調査し回答をいただいたものです。

**1** 政府が企業に対して賃上げを要請していますが、貴社では賃上げ、もしくは一時金の支給を実施しましたか。実施した方は、それぞれの原資はどのようなものになりますか。

賃上げの実施

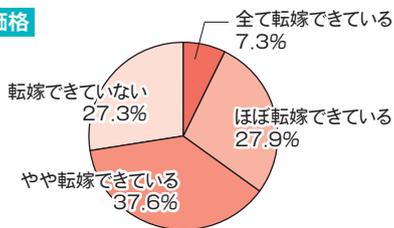


一時金支給の実施

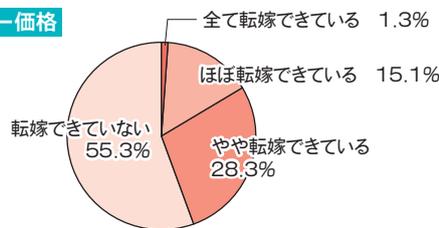


**2** 貴社では、昨今の原材料・仕入れ価格の上昇分や電力・エネルギー価格の上昇分相当を、販売価格に転嫁（上乘せ、値上げ）できていますか。

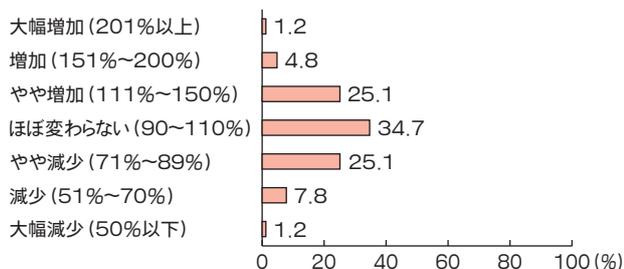
原材料・仕入価格



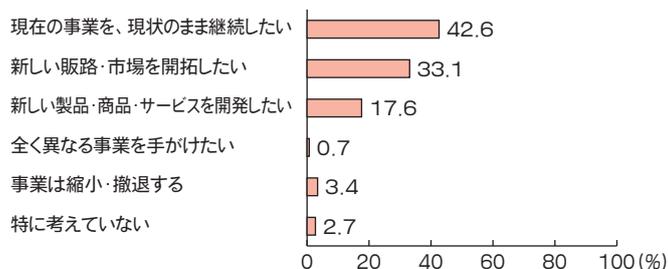
電力・エネルギー価格



**3** 新型コロナウイルス感染拡大から3年経過しましたが、貴社の現在の売り上げについて、感染拡大前（およそ3年前）とくらべ、どの程度となっていますか。



**4** 貴社では、3~5年後に向けて、現在の事業をどのように展開していきたいとお考えですか。



**5** 貴社では、人材確保のための職場環境改善へ向けて実施していることはありますか。

